【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【公開番号】特開2015-211395(P2015-211395A)
【公開日】平成27年11月24日(2015.11.24)
【年通号数】公開・登録公報2015-073
【出願番号】特願2014-93050(P2014-93050)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　1/387

【手続補正書】
【提出日】平成29年4月17日(2017.4.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の視野領域を撮像し、該視野領域の画像データを生成する撮像部と、
前記撮像部が生成した前記画像データに対応する画像から特定の成分を含む領域を抽出した抽出データを生成する抽出部と、
前記抽出部が生成した前記抽出データと、前記抽出部が前記抽出データを生成したタイミングと異なるタイミングに前記撮像部が生成した前記画像データとを合成した合成画像データを生成する画像合成部と、
を備えたことを特徴とする情報機器。
【請求項２】
前記撮像部が生成する前記画像データに対応する画像を表示可能な表示部と、
前記抽出部が生成した前記抽出データに対応する抽出画像を前記表示部に表示させる表示制御部と、
をさらに備えたことを特徴とする請求項１に記載の情報機器。
【請求項３】
前記撮像部は、連続的に前記画像データを生成し、
前記画像合成部は、前記撮像部が連続的に生成した前記画像データと前記抽出データとを時系列に沿って順次合成した前記合成画像データを連続的に生成し、
前記表示制御部は、前記画像合成部が連続的に生成した前記合成画像データに対応する合成画像を時系列に沿って前記表示部に順次表示させることを特徴とする請求項２に記載の情報機器。
【請求項４】
前記表示部の表示領域に重畳して設けられ、外部からの物体の接触位置を検出し、この接触位置に応じた位置信号の入力を受け付けるタッチパネルを有し、
前記画像合成部は、前記タッチパネルが入力を受け付けた信号に応じて、前記表示部が表示する前記合成画像内における前記抽出画像の位置または大きさを変更して前記合成画

像データを生成することを特徴とする請求項３に記載の情報機器。
【請求項５】
前記撮像部は、
被写体像を結像する光学系と、
前記光学系を収容するレンズ鏡筒と、
前記光学系の光軸を中心に回転可能に前記レンズ鏡筒に設けられ、前記特定の成分を含む領域を選択する選択信号の入力を受け付ける操作リングと、
を有し、
前記抽出部は、前記操作リングの回転量および回転方向に基づいて、前記特定の成分の値を変更して前記抽出データを生成することを特徴とする請求項１～４のいずれか一つに記載の情報機器。
【請求項６】
前記画像合成部は、前記操作リングの回転量および回転方向に基づいて、前記画像データと前記抽出データとの比率を変更して前記合成画像データを生成することを特徴とする請求項５に記載の情報機器。
【請求項７】
前記特定の成分を含む領域は、所定の輝度成分を含む領域、所定の色成分を含む領域および幾何学的なパターンを含む領域のいずれかであることを特徴とする請求項１～６のいずれか一つに記載の情報機器。
【請求項８】
情報機器が実行する画像処理方法であって、
所定の視野領域を撮像し、該視野領域の画像データを生成する撮像ステップと、
前記撮像ステップにおいて生成した前記画像データに対応する画像から特定の成分を含む領域を抽出した抽出データを生成する抽出ステップと、
前記抽出ステップにおいて生成した前記抽出データと、前記抽出ステップにおいて前記抽出データを生成したタイミングと異なるタイミングに前記撮像ステップにおいて生成した前記画像データとを合成した合成画像データを生成する画像合成ステップと、
を含むことを特徴とする画像処理方法。
【請求項９】
情報機器に、
所定の視野領域を撮像し、該視野領域の画像データを生成する撮像ステップと、
前記撮像ステップにおいて生成した前記画像データに対応する画像から特定の成分を含む領域を抽出した抽出データを生成する抽出ステップと、
前記抽出ステップにおいて生成した前記抽出データと、前記抽出ステップにおいて前記抽出データを生成したタイミングと異なるタイミングに前記撮像ステップにおいて生成した前記画像データとを合成した合成画像データを生成する画像合成ステップと、
を実行させることを特徴とするプログラム。